

多面的機能支払交付金

自己評価チェックシート

はじめに

多面的機能支払交付金は、地域資源（例えば、皆さんで共同管理している水路や農道など）を保全管理するための共同活動に対して支援を行うことで、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるとともに、構造改革（担い手農業者への農地集積等）の後押しをすることを目的にしています。

この「自己評価チェックシート」は、活動組織のこれまでの活動を定期的に振り返り、活動の実施状況や効果、活動による地域の変化等を点検することにより、活動の効果的・効率的な実施に活用することを目的としています。

設問の順に沿って、これまでの活動を振り返りましょう。

都道府県名	鳥取県						
市町村名	大山町						
活動組織名	〇〇会						
活動期間	令和	3	年	～	令和	7	年

I これまでの活動を振り返りましょう。

問 1 あなたの組織の活動の実施状況について、点検してみましょう。

1) 該当する項目(◎、○、△、×)を選択し、チェック”■”をつけてください。

取組内容	活動内容	◎	○	△	×
農地維持支払	遊休農地の発生防止のための保安全管理	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	施設(水路、農道、ため池)の草刈り、泥上げ等	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	異常気象時の対応	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
資源向上支払	施設の機能診断、軽微な補修等	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	生態系保全、水質保全に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	景観形成・生活環境保全に係る活動	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地下水かん養、資源循環に係る活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	多面的機能の増進を図る活動	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
組織運営	計画策定、とりまとめ等の事務手続き	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※農地維持のみの実施の活動組織の場合は、資源向上支払を「×」で回答

- ◎ 問題なく取り組んでいる
- 現在、問題なく取り組んでいるものの、今後負担となる可能性がある
- △ 負担となってきた
- × 実施していない

2) 防災・減災への取組(田んぼダム、体制整備等)、鳥獣被害対策等、地域の安全性向上に係る取組について、該当するものにチェック”■”をつけてください。

- 1. 積極的に取り組んでいる
- 2. 取り組んでいる
- 3. 今後、取り組む予定である
- 4. 取り組むことは難しい。

3) 活動参加者について、該当するものにチェック”■”をつけ、年間の延べ活動参加者数を記入してください。

- ①活動参加者
- 1. 増加している
 - 2. 変化していない
 - 3. 減少している

②年間延べ活動参加者数※

令和元年度	100	人
令和2年度	200	人
令和3年度	205	人
令和4年度	100	人
令和5年度	200	人

※参加者数については、活動記録(様式第1-6号)などを参考に記載して下さい。
※無記入は不可。未取組年度は「0」を記入

③活動参加者、活動組織の役員等の年齢構成※ ※活動参加者についてはおよその割合で結構です。

	活動参加者	役員等
39歳以下	10 %	30 %
40～64歳	10 %	10 %
65～74歳	70 %	50 %
75歳以上	10 %	10 %
計	100 %	100 %

※無記入は不可。該当なしは「0」を記

4) 話し合い等(推進活動)の実施状況について、該当するものにチェック”■”をつけ、年間の話し合い等の開催回数を記入してください。

- ①話し合い等の実施状況※
- 1. 回数や人数が増加
 - 2. 変化していない
 - 3. 回数や人数が減少
- ※話し合い等とは、総会、役員会、寄り合い等、本交付金の活動に関する話し合いの場は全て対象となります。活動記録(様式第1-6号)などを参考に記載して下さい。

②年間の話し合い等の開催回数

令和元年度	5	<input checked="" type="checkbox"/>
令和2年度	7	<input checked="" type="checkbox"/>
令和3年度	3	<input checked="" type="checkbox"/>
令和4年度	3	<input checked="" type="checkbox"/>
令和5年度	5	<input checked="" type="checkbox"/>

※ 無記入は不可。未実施は「0」を記入

5) 機能診断・補修技術や作業安全対策について該当するものにチェック” ■”をつけてください。

①機能診断・補修技術等の習得、習得者の確保

- 1. 研修等により問題なく確保できている
- 2. 確保が難しくなる懸念がある
- 3. 確保が難しくなっている

※農地維持支払の活動のみで、研修を実施していない場合は、「**研修等により問題なく確保できている**」を選択してください。(確保の必要がなく、問題がないという回答として)

②作業安全対策

- 1. 問題なく作業を実施している
- 2. 安全対策に不安がある
- 3. 活動参加者のケガや事故が増えてきている

6) 「多面的機能の増進を図る活動」について該当するものにチェック” ■”をつけてください。

①多面的機能の増進を図る活動に取り組んでいない

②多面的機能の増進を図る活動に取り組んでいる

取り組んでいる活動項目

- a. 遊休農地の有効活用
- b. 鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化
- c. 地域住民による直営施工
- d. 防災・減災力の強化
- e. 農村環境保全活動の幅広い展開
- f. やすらぎ・福祉及び教育機能の活用
- g. 農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化
- h. その他

-
-
-
-
-
-
-
-

※加算措置の対象となっているかどうかにかかわらず、「多面的機能の増進を図る活動」に取り組んでいるかどうかを回答ください。

※Ⅱの「増進活動」の欄のチェックを忘れない。取り組んでいる増進を図る活動により、その効果がより高まったと思われるものをチェック。

7) 多面的機能支払制度の活動として実施した活動の内容（広報活動を含む）と、取り組んでみてよかったこと、成果等について、記入してください。

※活動全般についてご記入ください
(資源向上や増進を図る活動などに限ったものではありません)

実施した活動の内容

※ 無記入や「特になし」は不可。振り返りのため記入必須

①草刈、泥上げ（農地維持活動）
②担い手のいない農地の草刈り
③水路沿い、農道沿いの植栽
④水路補修（直営）

取り組んでみてよかったこと、成果等 ※ 無記入や「特になし」は不可。振り返りのため記入必須

①取組を通して、地域のつながりができ、担い手不足や高齢化に悩む地域ではあるが、一体感を持って農地の維持管理に取り組んでいる。
②担い手のいない農地などが荒廃農地となることを防ぐことができています。
③非農家から農村・農業の持つ多面的機能の発揮についての理解や協力を得られている。
④交付金を活用し、集落共同で水路補修を行い、農業用施設の重要性を再認識するとともに、長寿命化に取り組めた。

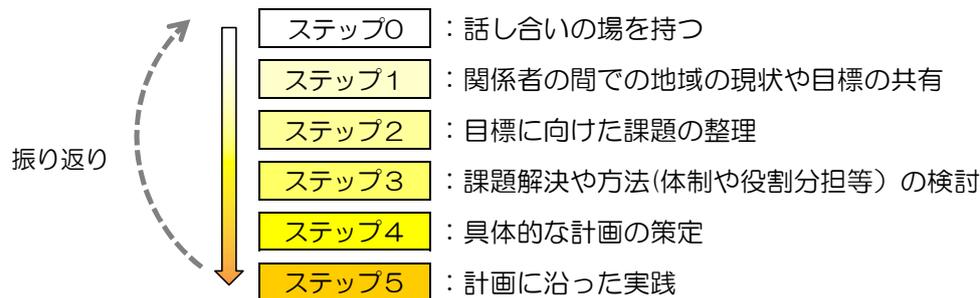
問2 活動の継続や展開に向けた取組の実施状況について点検してみましょう。

該当する項目（◎、○、△、×）を選択し、チェック”■”をつけてください。

取組内容	◎	○	△	×
活動内容や生態系や水質等の状況の公表	■	□	□	□
植栽等の景観形成活動の公表（看板、ホームページ等）	■	□	□	□
活動の振り返りによる活動参加者間での取組成果の共有	□	■	□	□
自然と調和した農業との連携、促進	□	■	□	□
農業者と非農業者の連携、協働	□	□	■	□
行政や他の活動組織等との情報交換、連携	□	■	□	□
異常気象への対応や防災・減災への取組に関する情報発信・情報共有、意識啓発	□	□	□	■
活動内容の広報等による構成員以外の方の関心の誘発、新たな活動参加者の取り込み	□	■	□	□
組織運営や事務を担う人材の育成	■	□	□	□
学校教育との連携や若い世代及び女性の参加等による多世代に渡る取組の実施	□	■	□	□
取組の継続に向けた組織体制の検討（役員構成、女性や非農家等の参画、世代交代、広域化、事務委託等）	□	■	□	□
「話し合いの場を持つ－地域の現状や目標の共有－課題の整理－方法等の検討－計画策定－実践－振り返り－新たな目標の共有」※の繰り返し	□	□	■	□

- ◎ 積極的に取り組んでいる
- 取り組んでいる
- △ 取り組んでいるが、問題がある
- × 取り組んでいない

※発展の段階



II 活動の効果、活動による地域の変化等について確認してみましょう。

効果が現れている、または現れる見込みのあるものについて、該当する項目（◎、○、△、×）を選択し、チェック”■”をつけてください。

「多面的機能の増進を図る活動」（広報活動を含む）を実施することによって、効果が高まった、あるいは、現れる見込みが高まったものについて「増進活動」の欄にチェック”■”してください。（複数選択可：多面的機能の増進を図る活動を実施している組織のみ）

※ I 問 1 6) で「②多面的機能の増進を図る活動に取り組んでいる」と回答し、増進を図る活動をしている組織は、「増進活動」の欄のチェックを必ず行ってください。

活動の効果、活動による地域の変化等	全組織回答	◎	○	△	×	増進活動
水路・農道等の地域資源の適切な保全、遊休農地の発生防止		■	□	□	□	■
地域の環境の保全・向上		□	■	□	□	□
施設の破損、故障や溢水等による農業生産や周辺地域への被害抑制		□	■	□	□	□
自然災害や二次災害等による被害の抑制・防止、復旧の迅速化		□	■	□	□	□
非農業者等の共同活動への参加による担い手農業者や法人等の負担軽減		□	■	□	□	□
農業者の営農意欲の維持、向上		■	□	□	□	□
非農業者の地域農業や農業用水、農業用水利施設等への理解醸成		□	□	□	■	■
水路・農道等の地域資源を保管理する人材の確保等、管理体制の強化		□	■	□	□	□
地域住民の地域資源や農村環境の保全への関心の向上		□	■	□	□	■
異常気象への対応や防災・減災への関心の向上		□	□	■	□	□
各種団体や非農業者等の参画の促進		□	■	□	□	□
話し合いや活動機会の増加による地域コミュニティの活性化		□	□	■	□	■

- ◎ かなり効果がある、かなりの効果が見込まれる
- 効果がある、効果が現れる見込みがある
- △ あまり効果はない
- × 全く効果はない

III 今後の活動について考えてみましょう。

今後の活動内容や組織体制等の展望や活動を継続していく上での課題、市町村等にアドバイスしてもらいたいことについて、記入してください。

・更なる非農家の参画の促進を行いたいと考えており、促進するうえで広報のやり方等についてアドバイスを頂きたい。
 ・次の世代へバトンタッチするべく、今後、若手のリーダーを育てて行きたいと考えている。このため、今後の組織運営について指導をお願いしたい。
 ・活動中における事故が年々増加傾向にある。他の組織における安全活動の優良事例の提供や他組織との合同での安全講習会の実施などをお願いしたい。

※ 振り返りのため、無記入や「特になし」を避け、課題等を記入してください。